

頭部打撲について

*寝返りができない赤ちゃんでも少しづつ動くことができます！



まだ寝返りをしていないし、寝てるからと
飲み物を取りに行ってそばを離れた時に
ベッドから落ちた…

対策

離れる時はベッド柵を上げる。



近くのリモコンを取ろうとして
一瞬目を離したすきに
後追いしてソファーやベッドから落ちた…

対策

手をお子さんの体に添えて近くのもの取る。



マットレスと壁との間に挟まり
窒息の恐れも…

対策

高さのあるマットは、壁からしっかり離す。

*一瞬でも目を離すのは危険です！

一瞬だけだから大丈夫と思わず、目を離すときは必ず対策をしましょう。

- ・ベッドやソファーから降ろして、敷物を敷いた床に寝かせる
- ・少しでも動き始めたら、階段の登り口・降り口等に柵を設置する 等

☆ 転落予防時の状況を確認しておきましょう

- ・どこから何cmくらいの高さから落ちたか
- ・どのような落ち方をしたか
- ・何にぶつかったか
- ・どこを打ったか

*冷やせる場合は、ぶつけた箇所を
アイスノン等で冷やしましょう

リスクが高い受傷状況

- ① 高さ
2才未満:90cm以上
2才以上:150cm以上
- ② たんこぶ
1才未満のお子さんのたんこぶ
- ③ 意識消失
2才未満:5秒以上の意識消失
2才以上:意識消失があった

☆このような症状が出たら もう一度受診、または救急車を呼んでください

- ① 様子がいつもと違う
- ② けいれんやひきつけが起こる
- ③ まっすぐ歩けない(ふらつく)
- ④ 吐き気や嘔吐が起こる。気分が悪く食事をとろうとしない(母乳・ミルクを飲まない)。
- ⑤ たんこぶでは説明のつかない頭痛を訴える。
- ⑥ 会話がおかしい(会話の内容が混乱している、健忘がある)。
- ⑦ 元気がなく、ぼんやりしていてすぐに眠ってしまう(意識障害がある)。
- ⑧ 片側の手足の動きが明らかに悪い。
- ⑨ 手足に力が入らない・しびれがある
- ⑩ 打ったところがブヨブヨしている。
- ⑪はじめ軽度だった上記症状が、次第に悪化する(頭痛がひどくなる等)。

受傷後最初の1~3時間は特に注意する必要がありますが、
その後48時間も注意して症状の観察をしましょう。

